

八幡平市

10年目を迎えた劇団の円熟した演技に感動

安代地区の市民劇団「ふるさと発信株式会社」の第11回公演は11月30日、安代小学校体育館で開かれました。

今回の演目は「二人の長い影」。戦時中に朝鮮半島で出会い、結婚の約束まで交わした真吾と久美子は、戦争の混乱により引き裂かれてしまう。そんな2人が戦後、日本に戻り別々に築いた2つの家庭の



戦争にもあそばれる青年期の真吾(写真左)と久美子を熱演する劇団員



久美子が夫に戦時中の体験を語る場面

居間が舞台です。物語は、主人公・久美(久美子)のもとにかかってきた男性(真吾)からの1本の電話から始まり、つらかった戦争の体験を家族や友人たちに語りながら展開していきます。団員たちは、2人が再会するまでを感動的に演じました。

閉幕後、劇団代表の村上直樹さん(荒屋新町)は「3人で旗揚げした劇団もこととして10年。皆さんのおかげで続けることができました。これからも声援をお願いします」とあいさつしました。

同劇団は、平成11年に旧安代町の有志で結成。毎年12月に定期公演を開催しています。

市グリーンツーリズム協議会の総会と会員交流会は11月27日、県民の森・森林ふれあい学習館「フォレストアイ」で行われました。

会員など38人が参加。交流会では、市内の「食の匠」認定者による郷土食が振る舞われ、ふるさとの味を堪能しました。また、盛岡広域フィルムコミッションの升田雅弘氏が、昨年放送されたNHK連続テレビ小説「どんと晴れ」の撮影の様子などを講演しました。



うちわ餅などの郷土食を楽しむ参加者

地域の資源を生かした市の活性化を目指す



交通安全メッセージの入った入浴剤などを配布しました

交通安全啓発「湯つくり作戦」は12月2日、マックスパリュウ西根店前で行われました。市交通指導隊が、道路状況が悪くなる冬期間に、運転者にゆとりを持った運転を促すことを目的に実施。高橋忠一隊長は「運転者にゆとりを持つて事故を起こさないよう呼び掛けながら、配布してください」とあいさつし、出動した隊員たちがチラシと入浴剤を配布しました。

交通事故防止に湯つくり運転を呼びかける